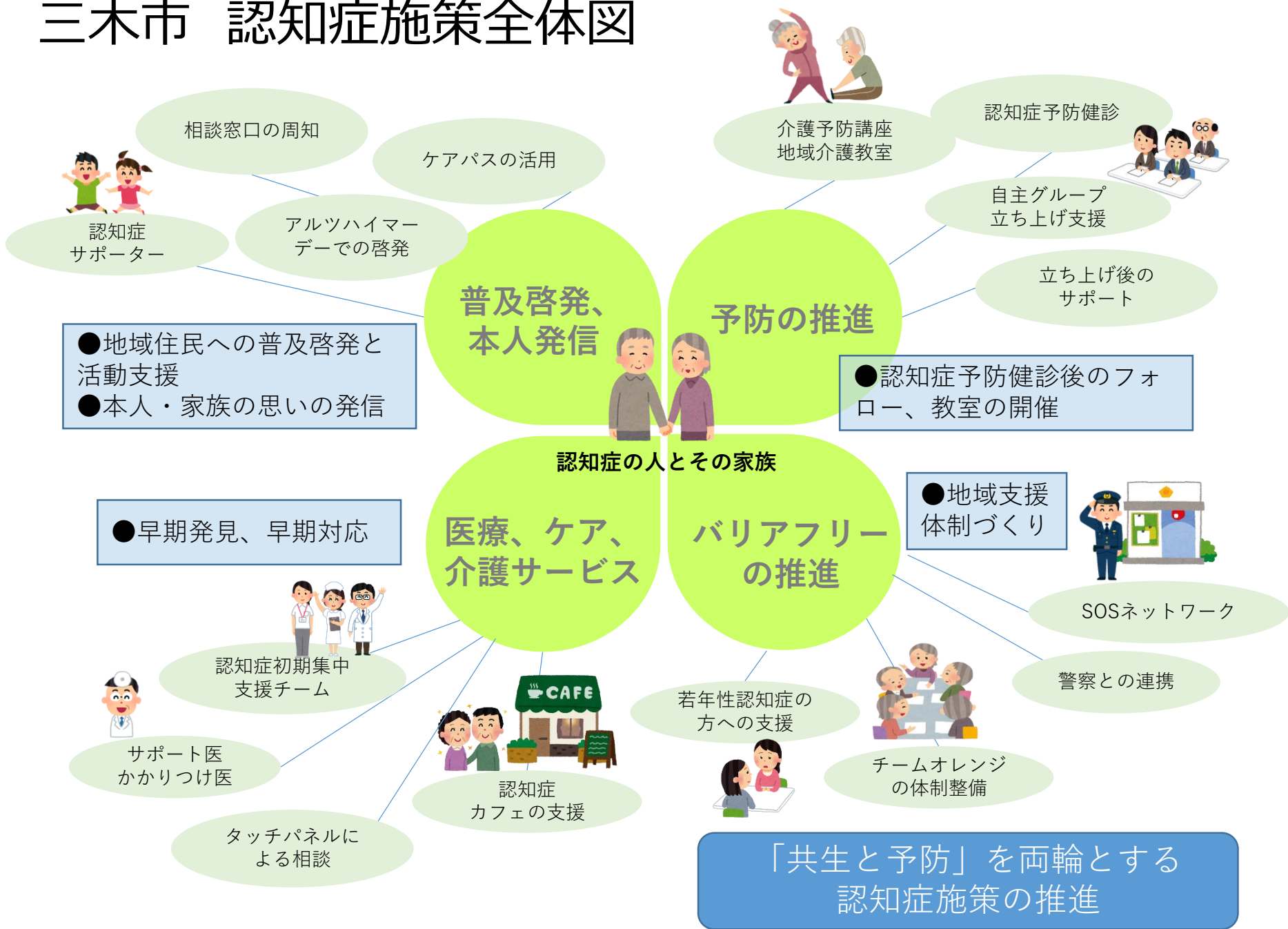


# 令和4年度 三木市 認知症地域支援推進員活動報告

## 認知症地域支援推進員について

- 1 認知症地域支援推進員： 9名
- 2 認知症地域支援推進員の役割
  - 認知症の人とその家族への相談支援
  - 認知症についての専門職と地域を対象にした研修の企画
  - 認知症カフェの推進
  - 認知症予防健診
  - 頭健康チェック（タッチパネル）による相談
  - 認知症予防教室の企画、教室OB会のフォロー
  - 認知症高齢者等の見守りSOSネットワーク
  - 認知症初期集中支援チームとの連携

# 三木市 認知症施策全体図



# 標題 認知症の正しい理解を広めるための普及啓発活動

9月 世界アルツハイマーデー啓発

●世界アルツハイマーデーにちなんで、子どもから高齢者まで、さまざまな人へ認知症への理解を広めるため、市役所前のオブジェをオレンジ色にライトアップしました。

実施期間：R4年9月1日～9月21日  
日没～午後10時

●「広報みき」に介護予防と認知症についての特集記事を組み、認知症ご本人とご家族へのインタビュー記事を掲載しました。

●認知症に関する相談先の啓発のため、昼休みに庁内放送を実施しました。内容は地域包括支援センターの職員で案を出し合い、決定しました。



認知症サポーター養成講座



令和4年度は **305名** の認知症サポーターが誕生しました (累計6372名)

対象者	人数
小学生、教員	139名
大学生、教員	89名
病院関係者	6名
地域住民	71名



R5.3月末現在

小学生から高齢者までさまざまな年代の方に認知症のことを学んでいただくことで、地域の皆さんが認知症に対しての偏見をなくし、適切な対応ができるよう取り組んでいます。

参加者の声

認知症の人だけでなく困った人を助けたい



「違うよ、ダメだよ」というのではなく、「こうしたらいいんだよ」と声をかけたい

認知症の方やご家族に対して温かい支援ができるようになりたい



自分にできることをしていきたい



認知症キャラバン・メイト養成研修

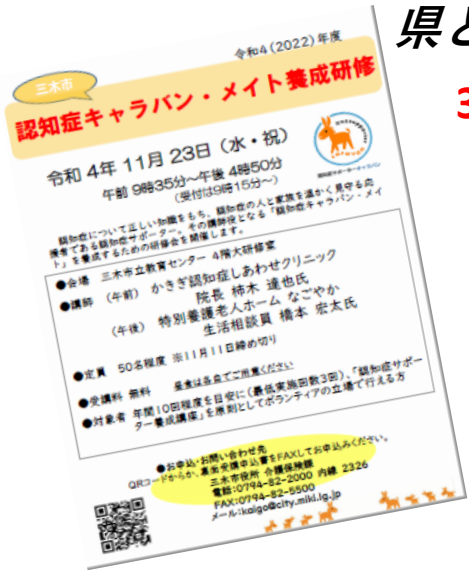
キャラバン・メイト養成研修を  
県と合同で実施しました。

30名のキャラバン・メイトが誕生しています。

実施日  
令和4年11月23日（水・祝）

場所  
三木市立教育センター

登録者数  
146名  
(R5.3月末)



参加者	人数
介護従事者（ケアマネ、施設職員等）	7名
医療従事者（看護師、作業療法士）	4名
民生委員・児童委員	3名
ボランティア等	16名



工夫した点

カリキュラム内の「キャラバン・メイトの役割と講座運営の実際」の項目では、実際に三木市内で認知症のご本人とご家族を支援するボランティアグループの代表者に講義を依頼しました。養成講座の企画運営から、対象者に合わせた寸劇、アンケートの分析等、今後の活動の参考になるお話を聞かせてもらいました。

**参加者の声** 講師の先生の説明がわかりやすかった。グループワークで意見交換ができて有意義な時間を過ごせた。地域で少しでも役に立てるようになりたい。すでに地域で活躍されている方のお話を聞くことができ、元気をもらえた。

**今後の課題** 新たに誕生したキャラバン・メイトの方々が、その後の活動につなげていけるように、お互いの活動報告や情報交換ができるような組織づくりも必要と考えています。

### 最後に・・・

今年もたくさんの認知症サポーター、キャラバン・メイトが誕生しています。地域のひとりひとりが認知症を正しく理解し、他人事としてではなく、『自分のこと』として受け止め、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう取り組んでいきます。